

高砂市の先輩職員にインタビュー



福祉部 生活福祉課
藤井 久史

◇ある日の一日

- 8:15 出勤
- 8:30 朝のミーティング
- 8:40 電話、窓口業務等
- 12:00 昼食
- 13:00 家庭訪問
- 16:00 電話、窓口業務等
- 17:15 終業
- 家庭訪問記事作成
- 19:00 照会の報告作成
- 22:00 帰宅

○高砂市の職員になったきっかけは？

大学生の頃、理系学部へ進学したことから漠然と専門職への就職を希望していました。しかし就職活動を目前に、「世間はどう貢献するのか」を考え、モノや技術での貢献ではなく、地域の方々とより直接的に関わることができる市の職員を志望しました。

○現在の仕事内容

生活保護業務におけるケースワーカーを担当しています。「相談」「家庭訪問」「扶助額の算出」が主な業務です。

○仕事のやりがいや魅力

市民の方との関わりが密接であるため、生活面でのサポートの中で、感謝の言葉をいただく機会が多く、とてもやりがいを感じます。

○嬉しかったこと、苦労したこと

世帯の数だけ、それぞれの生活があります。直面する事態は様々で、常に柔軟な判断が求められるため、初めは非常に苦労しました。そんな中で、自立により新たな一步を踏み出された方から、「今までお世話になりました」と言葉をかけられた時、今までの苦労が報われ、とても嬉しく思いました。

○受験者へメッセージ

私自身もそうですが、先輩方にも「大学では違う分野を学んでいた」方や、「違う職種に就いていた」方が多く活躍されています。高砂市の採用試験は広く門戸が開かれていますので、ぜひチャレンジしてみてください。

